

情報化社会における監視と安全と人権（6月22日基調講演メモ）

国士舘大学法学部教授
大学院法学研究科委員長
渡辺則芳

1、はじめに

専門領域からする話であることの説明
医療分野での展開

2、犯罪統制と監視の現状

- ①対個人における電子監視 ・ ・ ・ 電子刑務所、医療カルテ
例 広島美祢社会復帰センターのGPS
- ②対社会における電子監視 ・ ・ ・ 防犯カメラ等の監視
例 環境犯罪学の提言、児童の携帯電話所持

3、経費削減、効率化に対するプライバシーなどからする論議

- ・ 性犯罪者・薬物犯罪者などのコントロール
- ・ 情報漏えいの危険性とセキュアリティの問題

4、評価の基準からする検討

- ① 必要性 公益目的を含むことの問題
- ② 相当性 プライバシールールの問題
- ③ 補充性 個人の尊厳、人権からする評価

5、まとめ